

# 令和元年度居宅介護支援事業所 実地指導指摘事項について



# 令和元年度 指定居宅介護支援事業所実地指導の結果について

## 実施件数

15事業所

## 根拠法令

- 「支援基準」：「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準」  
（平成11年3月31日厚生省令第38号）
- 「解釈通知」：「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準について」  
（平成11年7月29日老企第22号）
- 「算定基準」：「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準」  
（平成12年2月10日 厚生省告示第19号）
- 「留意事項」：「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準及び指定居宅介護支援に  
要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について」

## (1) 運営に関する基準

1	指摘事項	内容及び手続きの説明・同意 利用者に交付している重要事項説明書について内容に記載漏れや誤りがある
	指導内容	<p>居宅介護支援の提供の開始に際しては、利用申込者・家族に対し、下記の内容を説明する必要があるため、重要事項説明書等に記載した上で十分に説明を行うこと。</p> <p>【重要事項説明書に記載が必要な項目】</p> <p>① 運営規程の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的及び運営方針</li> <li>・営業日及び営業時間</li> <li>・指定居宅介護支援の提供方法、内容及び利用料その他の費用の額</li> <li>・通常の事業の実施地域</li> <li>・その他運営に関する重要事項</li> </ul> <p>②介護支援専門員の勤務の体制</p> <p>③秘密の保持</p> <p>② 事故発生時の対応</p> <p>③ 苦情処理の体制等</p> <p>また、修正した重要事項説明書等は事業所の見やすい場所に掲示すること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第4条</li> <li>・解釈通知</li> </ul>

2	指摘事項	<p>内容及び手続きの説明・同意</p> <p>利用者が複数の居宅サービス事業者を紹介するよう求めることができることや、ケアプランに位置付けた居宅サービス事業者の選定理由の説明を求めることが可能であることについて重要事項説明書に記載がなく、説明が不十分である。</p>
	指導内容	<p>「利用者は、介護支援専門員に対して複数の指定居宅サービス事業者等の紹介を求めること」や、「居宅サービス計画に位置付けた指定居宅サービス事業者等の選定理由について説明を求めることができること」について重要事項説明書に記載し、確実に説明を行い、書面で同意を得ること。</p> <p>平成 30 年 4 月以前に契約を行った利用者についても、確実に説明を行い、書面で同意を得ることが望ましい。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 4 条第 2 項</li> <li>・解釈通知</li> </ul>
3	指摘事項	<p>内容及び手続きの説明・同意</p> <p>病院又は診療所に入院する必要が生じた際には、担当介護支援専門員の氏名及び連絡先を当該病院又は診療所に伝えるよう求める旨の記載が、重要事項説明書になく、説明が不十分である。</p>
	指導内容	<p>病院又は診療所に入院する必要が生じた場合には、当該利用者に係る介護支援専門員の氏名及び連絡先を当該病院又は診療所に伝えるよう求める旨を重要事項説明書等に記載した上で、確実に説明を行うこと。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 4 条第 3 項</li> <li>・解釈通知</li> </ul>

4	指摘事項	受給資格等の確認 有効期間内の被保険者証が確認できない。
	指導内容	被保険者証のコピーを保管する等により、利用者の被保険者資格、要介護認定の有無及び有効期間を確認すること。
	根拠	・ 支援基準第7条
5	指摘事項	基本取扱方針 指導実施時点で自己評価をおこなっていない。
	指導内容	居宅介護支援の提供にあたっては、自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る自己評価の取り組みを行う必要があるため、原則として一年に一度自己評価を実施すること。
	根拠	・ 支援基準第12条第2項
6	指摘事項	指定通知の掲示 指定居宅介護支援事業所の指定及び指定の更新を受けた旨の通知の掲示がされていない。
	指導内容	指定通知を事業所の見やすい場所に掲示すること。
	根拠	・ 小山市指定居宅介護支援事業所の指定等に関する規則 第4条

7	指摘事項	<p>生活援助中心型訪問介護頻回利用に関する届出</p> <p>厚生労働大臣が定める回数以上の生活援助が中心である訪問介護が位置付けられている居宅サービス計画を作成したが、市への届出がされていなかった。</p>
	指導内容	<p>居宅サービス計画に厚生労働大臣が定める回数以上の生活援助が中心である訪問介護を位置付ける場合にあつては、その利用の妥当性を検討し、当該居宅サービス計画に訪問介護が必要な理由を記載するとともに、当該居宅サービス計画を市町村に届け出なければならない。厚生労働大臣が定める回数とは、要介護状態区分に応じて、それぞれ以下のとおり。</p> <p>要介護1 1月につき27回          要介護2 1月につき34回          要介護3 1月につき43回          要介護4 1月につき38回          要介護5 1月につき31回</p> <p>該当の居宅サービス計画については、速やかに届出を行い、今後も継続して厚生労働大臣が定める回数以上の生活援助が中心である訪問介護を居宅サービス計画に位置付ける場合には、居宅介護サービス計画を作成又は変更した月の翌月末日までに再度届出を行うこと。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援基準第13条18号の2</li> <li>・ 解釈通知</li> <li>・ 厚生労働大臣が定める回数及び訪問介護（平成30年5月2日厚生労働省告示第218号）</li> </ul>

8	指摘事項	<p>運営規程</p> <p>利用者に交付している運営規程について、内容に記載漏れや誤りがある。重要事項説明書の記載内容と差異がある。</p>
	指導内容	<p>運営規程については、指定居宅介護支援事業所ごとに、事業の運営についての重要事項に関する規程として次に掲げる事項を定めるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 事業の目的及び運営の方針</li> <li>二 職員の職種、員数及び職務内容</li> <li>三 営業日及び営業時間</li> <li>四 指定居宅介護支援の提供方法、内容及び利用料その他の費用の額 (利用者の相談を受ける場所、課題分析の手順等)</li> <li>五 通常の事業の実施地域</li> <li>六 その他運営に関する重要事項</li> </ul> <p>記載内容の修正等を行い、修正後は変更届をもって小山市へ届け出ること。 また、修正した運営規程は事業所の見やすい場所に掲示すること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援基準第 18 条</li> <li>・ 解釈通知</li> </ul>
9	指摘事項	<p>秘密保持</p> <p>秘密を保持すべき旨の誓約が不十分である。</p>
	指導内容	<p>指定居宅介護支援事業者は、秘密を保持すべき旨を、従業員の雇用時に取り決め、例えば違約金についての定めを置くなどの措置を講じなければならない。秘密保持の誓約を違反した場合についても必要な措置を講じること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援基準第 23 条第 1 項、第 2 項</li> <li>・ 解釈通知</li> </ul>

10	指摘事項	秘密保持 利用者及びその家族の個人情報利用に係る同意をとっていない。
	指導内容	利用者及びその家族の個人情報を利用する場合は、あらかじめ文書により同意を得ること。
	根拠	・支援基準第23条第3項 ・解釈通知
11	指摘内容	記録の整備 居宅介護支援の提供に係る記録が見当たらない。
	指導内容	<p>居宅介護支援の提供にあたっては、下記の各種基準に基づき、記録を作成するとともに、5年間保存しなければならない。早急に記録を整理し、居宅介護支援の業務が適切に執行されていることが確認できる状態とすること。</p> <p>① 解決すべき課題の把握（アセスメント）にあたっては、当該アセスメントの結果について記録すること</p> <p>② サービス担当者会議の要点又は当該担当者への照会内容について記録すること</p> <p>③ 実施状況の把握（モニタリング）にあたっては、少なくとも1月に1回、モニタリングの結果について記録すること</p> <p>また、前述の利用者に対する指定居宅介護支援の提供に関する下記の記録については、その完結の日から5年間保存する必要がある。</p> <p>一 居宅サービス計画</p> <p>二 アセスメントの結果の記録</p> <p>三 サービス担当者会議等の記録</p> <p>四 モニタリングの記録</p> <p>五 居宅サービス事業者等との連絡調整に関する記録</p>
	根拠	・支援基準第29条



1 2	指摘内容	変更の届出等 運営規程の変更に伴う変更届が提出されていない。
	指導内容	変更届に変更前・変更後の運営規程（変更箇所が分かるようにすること）を添付して速やかに提出すること。
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法第 75 条</li> <li>・介護保険施行規則第 133 条</li> </ul>
1 3	指摘内容	変更の届出等 介護支援専門員の変更に伴う変更届が提出されていない。
	指導内容	変更届に、勤務形態一覧表、（主任）介護支援専門員証、介護支援専門員一覧表を添付して速やかに提出すること。
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法第 75 条</li> <li>・介護保険施行規則第 133 条</li> </ul>

## (2) 介護報酬に関する基準

1	指摘内容	<p>特定事業所集中減算</p> <p>特定事業所集中減算の算定に係る事項を記載した書類を作成し、算定の結果 80%を超えていたが、市に書類を提出していない。</p>
	指導内容	<p>算定の結果 80%を超えていた場合は、やむを得ない事情の有無にかかわらず、市に書類を提出すること。また、提出していない期間の書類については、速やかに提出すること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算定基準</li> <li>・留意事項</li> </ul>
2	指摘内容	<p>特定事業所集中減算</p> <p>特定事業所集中減算の算定に係る事項を記載した書類を作成・保管していない。</p>
	指導内容	<p>記録については減算が適用とならない事業所であっても、作成及び保管を行うこと。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算定基準</li> <li>・留意事項</li> </ul>

3	指摘内容	<p>退院退所加算</p> <p>退院・退所加算（Ⅰ）□、（Ⅱ）□、（Ⅲ）を算定しているが、「退院時共同指導料２の注３の要件」を満たすカンファレンスを実施していない。または、必要回数を満たしていない。</p>
	指導内容	<p>「退院時共同指導料２の注３の要件」に記載されたカンファレンスについては、入院中の保険医療機関の保険医又は看護師等が、下記の関係者のうちいずれか３者と共同して指導を行うとされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の退院後の在宅療養を担う保険医療機関の保険医若しくは看護師等</li> <li>・保険医である歯科医師若しくはその指示を受けた歯科衛生士</li> <li>・保険薬局の保険薬剤師</li> <li>・訪問看護ステーションの看護師等（准看護師を除く）、理学療法士、作業療法士若しくは言語聴覚士</li> <li>・介護支援専門員</li> <li>・相談支援専門員</li> </ul> <p>加算を算定したケースについて、算定要件を満たしていたか確認し、算定要件を満たしていないものについては、過誤調整を行うこと。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算定基準</li> <li>・留意事項</li> </ul>

### (3) 居宅サービス計画作成にあたっての指導・助言

1	指摘内容	総合的な居宅サービス計画作成 介護保険サービス以外で行っている支援の内容についてケアプランに記載がされていない。
	指導内容	居宅サービス計画は、利用者の日常生活全般を支援する観点に立って作成されることが重要である。居宅サービス計画の作成又は変更にあたっては、利用者の希望や課題分析の結果に基づき、介護給付等対象サービス以外の保健医療サービス又は福祉サービス、当該地域の住民による自発的な活動によるサービス等も含めて居宅サービス計画に位置付けることで総合的な計画となるように努めること。
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 3 号</li> <li>・解釈通知</li> </ul>
2	指摘内容	課題の把握（アセスメント） 課題分析項目について、厚生労働省が示した課題分析標準項目の一部に漏れがあった
	指導内容	居宅サービス計画の作成にあたっては、適切な方法により利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上で解決すべき課題の把握（アセスメント）を行わなければならない、それに当たっては厚生労働省が示した利用者の課題を客観的に抽出するための手法として合理的なものと認められる方法を用いて確実に行うこと。
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 6 号、第 7 号</li> <li>・解釈通知</li> <li>・介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について（平成 11 年 11 月 12 日 老企第 29 号）</li> </ul>

3	指摘内容	課題の把握（アセスメント）  居宅サービス計画の変更時、利用者が要介護更新認定時及び要介護状態区分の変更の認定時のアセスメントの記録が確認できない。
	指導内容	アセスメントの結果については、5年間保存しなければならないため速やかに書類を整理し、確実に保管すること。
	根拠	・支援基準第29条
4	指摘内容	サービス担当者会議 サービス担当者会議について検討した内容等についての記録が見つからない。
	指導内容	サービス担当者会議の記録については、5年間保存しなければならないため速やかに書類を整理し、確実に保管すること。
	根拠	・支援基準第29条
5	指摘内容	居宅サービス計画の交付 サービス事業所に対して居宅サービス計画を交付した記録がない。
	指導内容	居宅サービス計画を作成した際には、遅滞なく利用者及び担当者に交付しなければならない。居宅サービス計画の交付後は、その日時や担当者等について支援経過等に記録を残すこと。
	根拠	・支援基準第13条第11号 ・支援基準第29条 ・解釈通知

6	指摘内容	<p>個別サービス計画の提出依頼</p> <p>受け取った個別サービス計画が見当たらず、確認できない。</p>
	指導内容	<p>担当者に居宅サービス計画を交付したときは、担当者に対し、個別サービス計画の提出を求めなければならない。</p> <p>担当者から提出のあった個別サービス計画については、確実に保管を行い、居宅サービス計画と個別サービス計画の連動性や整合性について確認を行うこと。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 12 号</li> <li>・支援基準第 29 条</li> <li>・解釈通知</li> </ul>
7	指摘内容	<p>医療との連携</p> <p>居宅サービス計画に医療サービスを位置付けているが、医療サービス利用に当たって主治の医師等の意見を確認していない。</p>
	指導内容	<p>訪問看護、通所リハビリテーション等の医療サービスを居宅サービス計画に位置付ける場合に当たっては、必ず主治の医師等の指示等を確認すること。確認後は、確認日時・指示を出している医師名及び医療機関名・指示の内容等について確実に記録すること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 19 号</li> <li>・解釈通知</li> </ul>

8	指摘内容	医療との連携 居宅サービス計画に医療サービスを位置付けているが、主治の医師等に居宅サービス計画を交付していない。または、交付した記録がない。
	指導内容	医療サービスを位置付けた居宅サービス計画を作成した際は、円滑な連携に資するよう主治の医師等に居宅サービス計画を交付しなければならないため交付すること。また、交付に当たっては日時や手法等について支援経過等に記録すること。 なお、交付の方法については対面のほか郵送やメール等によることも差し支えない。
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 19 号の 2</li> <li>・解釈通知</li> </ul>
9	指摘内容	軽度者の福祉用具貸与 軽度者で車いす貸与を受けている利用者について、貸与に関する意見を主治医へ確認した記録がない。
	指導内容	<p>軽度者で車いす貸与を受ける必要がある場合には、以下のいずれかの方法で貸与の妥当性を確認しなければならない。</p> <p>① 直近の要介護認定における認定調査票にて「基本調査 1－7 歩行」が「できない」とされていること</p> <p>② 主治医が規定の状態像に当てはまると判断したことを確認し、サービス担当者会議等を通じた適切なマネジメントにより福祉用具貸与が必要と判断されること。（市への申請は不要）</p> <p>②によって判断する場合、医師の所見（確認日時・確認をとった医師名医療機関名・病名・本人の状態像等を記載）を確認し、その記録を保管すること。</p>
	根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援基準第 13 条第 22 号</li> <li>・解釈通知</li> </ul>